

# 南那珂の普及活動 (普及活動月報)

令和 8 年 8 月  
南那珂農林振興局  
(南那珂農業改良普及センター)

## I 管内農業・農村の主な動き

### 1) 令和 8 年度みのさき地区農用地利用改善団体総会の開催

5 日に、(農)みのさきファーム事務所において、令和 8 年度みのさき地区農用地利用改善団体総会が開催され、令和 7 年度の事業実績報告、並びに令和 8 年度の事業計画案の承認等が行われました。

### 2) JA はまゆう地区本部肉豚部会研修会の開催

20 日に、日南市において、はまゆう地区本部肉豚部会の研修会が開催され、と畜料金の値上げに関する報告や、第 12 回宮崎県肉畜共進会への出品に関する協議が行われました。

また、JA みやざきはまゆう地区本部より「南九州の夏場対策」について、地球温暖化の影響等も交えて説明が行われました。



熱心に研修を受講する出席者

### 3) 令和 8 年度 8 月期子牛品評会の開催

25 日に、南那珂地域家畜市場において、8 月期子牛品評会が開催され、28 頭の出品がありました。

結果、串間市の井手達也氏の「みさき 212 (孔明桜×白隆鵬×耕富士)」号が優等賞首席、日南市の湯前隆氏の「えいすみこ (栄光之未来×愛日向×耕富士)」号が 2 席、串間市の吉田正彦氏の「あき 311 (孔明桜×二刀流×耕富士)」号が 3 席を受賞しました。

団体優勝は、串間市大東支部が受賞しました。



団体優勝旗を受領する井手氏

## II 主な普及指導活動等の取組

### 1 地域プランに基づく普及活動

#### No. 1 スマート農業を実装する多様な水田経営モデルの育成

##### 1) 畦畔除去による作業効率改善に関する調査の実施

17日に、串間市西方の圃場にて、畦畔除去による作業効率改善効果検証の一環として、収穫作業の撮影および時間の計測を実施しました。

今回それぞれ3反と6反の圃場で作業時間を計測し、3反でおよそ25分、6反でおよそ50分の作業時間となりました。（停止・転回時間除く。）

今後、撮影した映像を基により詳細な作業時間を精査し、畦畔除去による労働力削減の効果を検証していきます。



ロボットコンバインによる  
水稻収穫作業

#### No. 2 技術革新により高収益生産に挑む儲かる野菜産地の実現

##### 1) ハウス環境制御（Dプロ）研修会の開催

20日に、管内きゅうり・ピーマン生産者および関係機関を対象としたハウス環境制御をテーマとした研修会を開催し、15名が出席しました。

農研機構から講師を招き、「施設栽培における環境・生育データの活用について」と題してご講演いただきました。質疑応答では多くの生産者から質問が相次いだほか、研修会後の情報交換会でも活発な意見交換が行われました。

普及センターとしても、本研修で得られた知見を基に、今後も管内生産者への支援を継続していきます。



講師の説明を熱心に聞く参加者

##### 2) 晩掘かんしょの品評会の開催

20日に、JAみやざき串間市大東地区本部管内のかんしょ生産者を対象に、晩掘かんしょの収量調査並びに品評会が開催されました。

収量調査の結果では、昨年と比べ同等～やや多い傾向となっています。

7月以降、降水量が大幅に減少したことから、葉のしおれが見られ、草勢が低下していることから、草勢を維持していくことが重要になります。

また、普及センターからは品評会の中で講評を行うとともに、害虫も多く発生していることから、引き続き病害虫の防除をお願いしました。



品評会に出品されたかんしょ

### 3) サツマイモ基腐病対策試験ほの調査

28、31 日に、管内で令和 8 年度に取り組んでいる品種比較試験などの各種実証ほの発病調査や収量調査を実施しました。

今後、定植後約 120 日の収穫期を迎える 9 月には、本格的な収量調査（抵抗性品種比較試験など）を予定しています。

試験結果については、まとめ次第、冬の座談会などで管内の生産者へ共有していきます。



収量調査を行う職員

### 4) かんしょほ場での病害発生状況調査

26 日に、関係機関（串間市、JA、振興局、普及センター）で 3 回目のかんしょほ場の定点調査（ほ場数 27 箇所）を行いました。

今回の調査では、5 箇所のほ場で基腐病が数株程度の微発生で確認されました。

9 月以降、平年と比較し気温が高まる予報であり、発生リスクが高まっています。今後も、関係機関と協力して調査を実施し、生産者に対して適期の病害虫対策を推進します。



ほ場の確認をする職員

### 5) ブロッコリー導入に向けた生産者向け説明会の実施

10 日に、串間市役所にて今年度、ブロッコリー栽培試験に取り組む生産者を対象に説明会を実施しました。本試験は、サツマイモとの輪作でブロッコリーを栽培し、農地の有効活用と収益確保を図ることを目的としています。

説明会では、試験の目的及び栽培方法等について説明を行いました。

今後は、9 月初めに播種作業を実施し、10 月定植、年内から年明けにかけての収穫スケジュールで活動する予定です。

今後も土地の有効活用と収益確保に向け、関係機関と協力のもと引き続き支援していきます。



栽培要件を熱心に聞く関係者

## No. 3 産地構造の改革による足腰の強い肉用牛産地の実現

### 1) 和牛コンソーシアム中間報告会の開催

6日に、県防災庁舎にて和牛コンソーシアム（※）中間報告会が開催され、JAみやざきの各地区本部から、計35件への指導状況と今後の課題等が報告されました。南那珂地域からは、日南市1件、串間市5件の指導内容について、担当の営農指導員より報告しました。

※生産性向上のために、畜産協会、各地域のJA、NOSAIみやざき、市、普及センターが連携して指導する組織。



事例発表を行う営農指導員

### 2) 和牛コンソーシアム及びはまゆう肉用牛重点指導プロジェクトの巡回を実施

25日に、和牛コンソーシアム兼はまゆう肉用牛重点指導プロジェクトの対象農家3名（串間市）の巡回を行い、子牛の体測や牛舎環境の確認、粗飼料生産状況の聞き取り等を行いました。

今後も引き続き定期的な巡回を行い、生産性向上を目的とした牛の飼養管理について支援します。



牛の体測の様子

### 3) タイミーを活用したヘルパーの検討に向けた実証の開始

20日に、労働力の確保を目的とした実証を行うため、日南市の農家にて作業内容や募集条件を精査し、スキマバイトサービスのタイミーを活用して求人掲載を行いました。

9月上旬の実証に向け、労働者を募っています。

今後も引き続きタイミー等求人サービスを利用した実証を行い、労働力確保について支援します。



掲載内容に関する検討の様子

## No. 4 県内一のかんきつ、スイートピー産地を未来につなげる仕組みづくり

### 1) 南那珂地域青年農業者等支援連絡会議の開催

31日に、南那珂地域の農業を担う次世代の青年農業者等の確保・育成などの課題解決のため、関係機関の情報共有により連携体制の充実を図る標記会議（本年度2回目）を開催しました。

会議では、地域関係機関による新規就農者の相談状況、認定新規就農者の営農状況等の情報共有に加え、県庁担い手農地対策課担い手確保担当及び県農業振興公社、農業会議等からの関連事業等の情報提供（キャラバン）を組み合わせ、新規就農促進や青年農業者等の連携支援体制の充実について意見交換を実施し、就農の現場や支援機関における課題について検討しました。

普及センターでは、今後とも青年農業者等の連携支援体制の充実を図っていきます。



青年農業者等支援連絡会議

### 2) 南那珂地区営農振興協議会花き部会第3回技術員会の開催

31日に、南那珂地区営農振興協議会花き部会第3回技術員会を開催しました（12名参加）。

会議では、各品目の生育概況や今年度の展示進捗報告、ベビーハンズの県産品点検結果の共有、今年度の視察研修内容等のほか、スイートピーの新規就農者確保の取組についても協議・意見交換が行われました。

今後とも関係機関と連携し、産地の活性化と技術の普及に努めていきます。



意見交換する出席者

## 2 地域課題一覧に関する普及活動

### 1) 令和8年度南那珂アグリセミナーの終了

7～8月の2ヶ月間、全10回にわたり、多様な農業者を対象とした研修会を実施しました。本研修は、参加者の発展ステージに応じた技術および経営管理能力の向上を目的として開催したものです。

特に全10回のうち8回は、就農前の方から就農3年目以内の方々を中心に、農業を「経営する」という意識の醸成を主眼に置きつつ、生産現場で最低限知るべき栽培知識等について講義を行いました。

参加者は、既に就農している方から、就農間近の方、就農を準備中の方まで多岐にわたりましたが、各参加者が意見を交わしながら終始和やかな雰囲気の中で学び合う場となりました。

普及センターでは、本研修を来年度も継続する予定です。今年度の参加者の貴重なご意見も踏まえ、内容を充実させ、より効果的な研修へとバージョンアップしていきます。



真剣な表情で学ぶ参加者たち

## 2) 認定新規就農者の巡回による営農状況等の確認

17日と20日に、串間市8名、24日から28日にかけて日南市20名の認定新規就農者を巡回し、営農状況や経営・技術面の課題・悩みなどの確認を行いました。

この巡回は、串間市、日南市と連携して実施したもので、JAの担い手担当職員や、一部、地域の農業委員等も同席し、それぞれの視点から営農の状況を確認し助言しました。一部で、病虫害の発生等で計画どおりの収入が得られていない新規就農者もいましたが、全員が課題の解決を図りながら強い意欲を持って営農に取り組んでいることが確認できました。

今後も引き続き、関係機関と連携しながら新規就農者に対する支援を行っていきます。



ほ場等を巡回する関係機関

## 3) 地区営農振興協議会野菜部会第3回技術員会の開催

31日に、野菜部会第3回技術員会を開催し、関係機関から17名が出席しました。

会議では、各品目の生育概況の共有や展示ほの進捗報告に加え、夏秋ピーマンの大分県視察報告が行われました。特に視察報告に関連して、現地での栽培管理方法や近年の課題である高温対策などについて、活発な意見交換が行われました。

今後も関係機関と連携し、産地の活性化と技術の普及に努めていきます。



意見交換をする出席者

## 4) オクラの品種比較に係る生育調査の実施

13日及び31日に、串間市本城のほ場において、JA営農指導員とオクラの品種比較試験に係る生育調査を実施しました。品種は、慣行品種「ジュピター」、新品種「キャスバル」及び「MS-1380」を試験しています。

今後は、生育状況の確認に加え、収穫の始まった6月から栽培が終了する10月まで定期的に収量調査を行い、時期別の収量等の差異を明らかにする予定です。得られた結果はJA専門部総会で共有し、新品種導入の可能性について関係者間で協議を進めていきます。

## 5) JA 串間市大東地区本部完熟きんかん学習会の開催

21 日に、串間市大東管内にて、生産者 7 名参加のもと標記学習会が開催されました。

営農指導員より生育状況の報告、普及センターより気象概況及び今後の管理、遮熱ネット等の被覆、昼間の葉水散水など高温対策を説明しました。また、生産者とともにほ場の巡回を行い、管理について活発な意見交換が行われました。

現在、ハウスきんかんにおいて日焼け果の発生が散見されているため、引き続き高温対策を呼びかけていきます。



意見交換する生産者

## 6) JA はまゆう地区本部ハウス日向夏学習会の開催

27 日に、総合農業試験場亜熱帯作物支場にて、管内生産者 8 名参加のもと標記学習会が開催されました。

営農指導員より今後の管理、普及センターより気象概況、亜熱帯作物支場より結果安定のための栽培管理、特に、結果を安定させるために、十分なかん水が必要であることの説明がありました。支場内のハウス日向夏の試験ほ場を見学し、これからの結果安定に向けた管理について、生産者と意見交換を行いました。

夏季の高温が年々厳しくなっているため、かん水管理の見直しなど引き続き高温対策を呼びかけていきます。



熱心に説明を聞く生産者

## 7) 侵入警戒有害動植物の侵入調査の実施

農産物に重大な被害を与える恐れのある重要病害虫の侵入調査として、ミバエ類とアリモドキゾウムシを対象に、トラップを用いた調査を実施しています。

12 日と 26 日に、アリモドキゾウムシのトラップ（管内 12 か所）による誘殺数調査を行った結果、いずれも誘殺は確認されませんでした。

また、4 日と 19 日に、ミバエ類（管内 8 箇所）のトラップ調査を実施し、いずれも誘殺は確認されませんでした。

今後も、南那珂地域への侵入・まん延を防止するため、定期的な調査を実施していきます。

農業者、漁業者、県民の皆さまの「知りたい！伝えたい！相談したい！」にお応えします！



宮崎県農業・水産業ナビ  
ひなたMAFiN  
Miyazaki Agriculture and Fisheries Navigation

農業・水産業に関する

- ➡ 多様な情報をホームページでわかりやすく提供！
- ➡ タイムリーな情報を SNS などを活用して発信！
- ➡ 皆さまの思いや意見を集約！

ひなたMAFiN 検索



メルマガ登録はこちら